

## 令和3（2021）年度 部局マネジメント方針

### 小中一貫教育推進室長

でぐち ひろふみ  
出口 博文



### 私の決意（仕事に対する基本姿勢及び部局の取り組み方針）

私は、本市の教育施策の軸である小中一貫教育が本格実施となった令和元年度より小中一貫教育推進室長の職務を担っております。

全中学校区で一斉に小中一貫教育を実施するには組織としての決定、判断スピードが重要であると考えその点を意識すること、また、所属職員との情報共有を密にすることを基本とし、職務を進めてまいりました。さらに、小中一貫教育推進室だけではなく、教育委員会事務局が一体となって子どもたちへより良い学びを提供するとの理念の下、小中一貫教育を推進してまいりました。

令和2年度はコロナ禍により教育現場においても大変大きな影響を受けました。令和3年度になり新型コロナウイルス感染症ワクチン接種が進んでおりますが、未だ新規感染者の状況等、予断を許さない状況となっております。学校園においても子どもたちが安心して学校園で過ごせるよう教職員一丸となり感染症対策を行いつつ、教育活動を進めています。

このコロナ禍のような先の見通せない、予測困難な社会、まさに激動の社会を生きる子どもたちに生き抜くための力を、本市独自の取り組みである「夢TRY科」を通じて育むことができると考えています。また、「夢TRY科」での学びはSDGsの中で示される17のゴールのほとんどにつながるものであるとも考えています。身近な出来事を自分事として捉え、そこから地球規模の課題に関心を持ち、持続可能な社会を担う一員となってまいります。市民の皆さまには是非、この「夢TRY科」に強い関心を持っていただき、子どもたちの学びを見守っていただきますようお願いいたします。